

平成28年12月 1日

各 位

九州大学大学院農学研究院
生命機能化学部門システム生物学講座
微生物遺伝子資源学助教候補者選考委員会
委員長 熊丸 敏博

九州大学大学院農学研究院生命機能化学部門システム生物学講座
微生物遺伝子資源学分野 助教候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり農学研究院生命機能化学部門システム生物学講座微生物遺伝子資源学助教候補者を公募することになりました。

つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数

助教・1名（採用当初、年俸制教員となる可能性があります）

2. 所属・専門分野

今回採用する助教は、大学院農学研究院 生命機能科学部門 システム生物学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府 生命機能科学専攻 分子微生物・バイオマス資源化学教育コースおよび農学部生物資源環境学科応用生物学コース食糧化学工学分野担当教員となります。また、当該職は農学研究院附属遺伝子資源開発研究センター 微生物遺伝子開発分野に所属します。

当該職が担当する微生物遺伝子資源学分野は、遺伝子制御学、細胞制御工学、合成生物学、発酵化学、微生物工学、土壌環境微生物学、生物機能デザイン、バイオプロセスデザイン、家蚕遺伝子資源学、植物遺伝子資源学とともにシステム生物学講座を構成します。当該講座は生命現象をシステムとして捉

え、生物資源の持つ普遍および特異機能の個体、細胞、分子（遺伝子、タンパク質、代謝物）レベルでの統合的理解と、それらのシステム制御による生物生産・生体機能の高度化応用に関する理論構築と技術発展を目指しています。また、担当する大学院教育コースおよび学部分野においては、これらの研究に関連する基礎及び応用研究開発に携わる人材を組織的に養成するための教育を進めています。

また、当該分野は、農学研究院附属遺伝子資源開発研究センターにおいて、微生物遺伝子開発分野として、家蚕遺伝子開発分野、植物遺伝子開発分野と共に有用微生物に関する遺伝子資源の開発と特性評価、管理と保存に関する総合的研究を展開しています。

当該講座及びセンターの目的を実現するために、微生物遺伝子資源学分野は、微生物の有用遺伝子や新規機能性遺伝子の探索とそれらの構造解析・機能開発を研究方針とし、有用微生物資源の細胞、ゲノム、分子レベルでの統合的理解を推し進めています。特に、微生物遺伝子資源の探索・収集・保存とゲノム解析に関する教育と研究、細菌、ファージ、プラスミド遺伝子の機能と多様性解析に関する教育研究は不可欠です。そのなかでも、

- 1) 細菌およびそのウイルス・プラスミドの探索・分類と系統解析およびゲノム構造解析に関する研究
- 2) 微生物遺伝子資源の評価・管理・保存の高度化に関する研究
- 3) 発酵性細菌や好熱性細菌の有用遺伝子の構造・機能解明と新規機能性遺伝子の開発に関する研究

等の領域において、微生物遺伝子資源学、微生物学、ウイルス学、遺伝子工学、分析化学等の幅広い学識を有し、先進的教育研究を推進しうる方を求めています。

3. 採用予定時期

教授会承認後、可能な限り早い時期

4. 応募資格

博士の学位を有する方、および、採用予定時期までに取得見込みの方。上記の教育・研究領域において優れた業績と識見を有し、学部および大学院担当教員として学生の教育や研究指導に熱意をもって取り組む方。

5. 担当授業科目

- (1) 大学院
・修士課程

(生命機能科学専攻分子微生物学・バイオマス資源化学教育コース)
環境微生物学特論(分担)、バイオリソース特論(分担)、微生物遺伝子工
学特論(分担)、微生物遺伝子工学演習(分担)等

(国際開発研究特別コース)

修士論文研究Ⅰ(分担)、同Ⅱ(分担)、特別演習Ⅰ(分担)、同Ⅱ(分担)、
同Ⅲ(分担)、Advanced Technology in Agriculture(分担)等

・博士後期課程

(生命機能科学専攻分子微生物学・バイオマス資源化学教育コース)

分子微生物学・バイオマス資源化学特別実験(分担)、分子微生物学・バ
イオマス資源化学特別講究(分担)、分子微生物学・バイオマス資源化学
特別演習(分担)等

(2) 学部

(応用生物科学コース食糧化学工学分野)

微生物学基礎実験(分担)、遺伝子工学実験(分担)等

・担当可能な基幹教育科目

自然科学総合実験(分担)等

(3) その他

英語による授業および研究指導も担当していただきます。

6. 提出書類

(1) 略歴書

(2) 業績目録

I 原著論文(本人の氏名にアンダーライン、本人が責任著者の場合は*)
(著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年)

(i) 査読付雑誌、(ii) 査読なし雑誌、(iii) 国際学会プロシーディングス、
(iv) その他で区分すること

II 著書(著者名、題名、発行所、発行年)

III 総説・解説等(著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年)

IV 特許

V 学会での受賞

VI 国際学会等招待講演

VII 外部資金導入実績(名称、研究課題、期間、金額、代表・分担の別を
記す)

VIII 教育実績

IX その他(資格等)

(3) これまでの研究の概要と今後の研究に対する抱負(1,000字程度)

- (4) 今後の教育に対する抱負 (500 字程度)
- (5) 上記 (1) ~ (4) の書類を PDF 化し保存した電子媒体
- (6) 主要論文の別刷り又はその写し (5 編以内)
- (7) 推薦書

他薦の場合：推薦書 (1 通)

自薦の場合：自薦書および応募者の教育・研究等について問い合わせのできる方 2 名の氏名および連絡先

- (8) 選考後応募書類はお返ししません。

※ (1) は下記 URL の様式により作成願います。

<https://share.iii.kyushu-u.ac.jp/public/hELQwAjIY07AnbgBd1JYiISqq4JYFveUytX74YnzuZsU>

7. 面接等

審査の過程で面接を行う場合があります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。

8. 提出締切 平成 29 年 1 月 13 日 (金) 17:00 必着

9. 提出書類の送付先

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6 丁目 10-1

九州大学大学院農学研究院 遺伝子資源開発研究センター

植物遺伝子開発分野

微生物遺伝子資源学分野助教候補者選考委員会

委員長 熊丸 敏博

電話：092-642-3057

E-mail：kumamaru@agr.kyushu-u.ac.jp

書類は受付を証明できる方法 (簡易書留、宅配便等) で提出してください。

10. その他

- (1) 九州大学では、男女共同参画社会基本法 (平成 11 年法律第 78 号) の精神に則り、教員の選考を行います。
- (2) 九州大学では「障害者基本法 (昭和 45 年法律第 84 号)」、「障害者の雇用の促進等に関する法律 (昭和 35 年法律第 123 号)」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 (平成 25 年法律第 65 号)」の趣旨に則り、教員の選考を行います。

- (3) 本研究院、学府、学部等の教育・研究概要等は、ホームページ
(<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp>) を参照してください。
- (4) 送付された資料は選考以外の目的には使用しません。
- (5) 給与・年俸制等についての問い合わせ先:
九州大学農学部庶務係 (電話 : 092-642-2802)